

4 根室市の主な漁業・漁法について

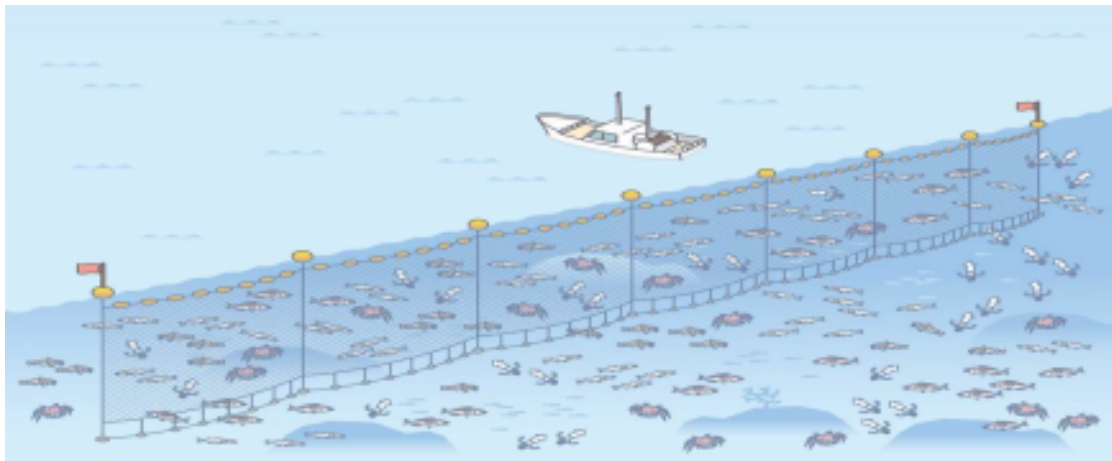
刺し網漁・流し網漁 主要対象:サケ、マス、スケトウダラ、カレイ、マダラ等

魚の通り道に帯状の網を仕掛け、その網に魚を絡めて漁獲する漁法です。上に浮き、下におもりをつけて、垂直に網を張ります。仕掛けた網に魚が刺さったようになることから、「刺し網」と呼ばれます。その歴史は古く、網の中では最も構造が簡単です。

狙う魚種によって網目の大きさや漁法が変わるのが特徴で、網を固定せず潮流などで漂わせておくものは「流し網漁」と呼ばれます。

○根室市における漁期

- | | | | |
|----------|-------|------------|--------|
| ・サケマス流し網 | 4月～ | ・スケトウダラ刺し網 | 12月～3月 |
| ・カレイ刺し網 | 4月～8月 | ・マダラ刺し網 | 通年 |



棒受け網漁 主要対象:サンマ、イワシ

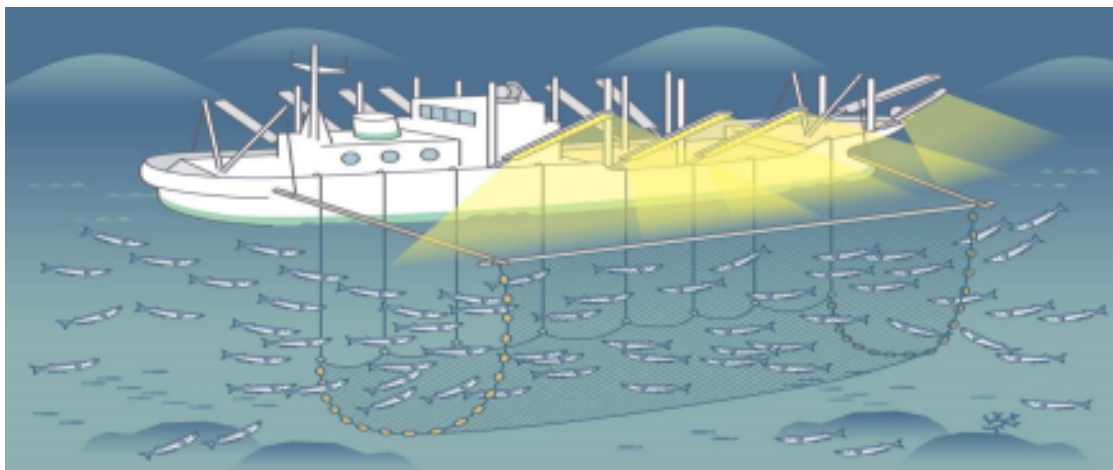
魚が光に集まる性質を利用した漁法で、夜間に明かりを灯して海面を照らし、集まった魚を網ですくい取ります。

船の片側の集魚灯だけを点灯させ、魚を誘導します。その間、もう一方側では網を海中に沈めて準備します。

点灯させた集魚灯を後ろから順番に消すと同時に、もう一方側の集魚灯を前から点灯させ、魚を網の方へ誘導します。

光に反応し興奮状態の魚が落ち着いた後に棒受網を船に引き揚げて漁獲します。

- 根室市における漁期
- | | |
|------|--------|
| ・サンマ | 8月～12月 |
| ・イワシ | 6月～10月 |



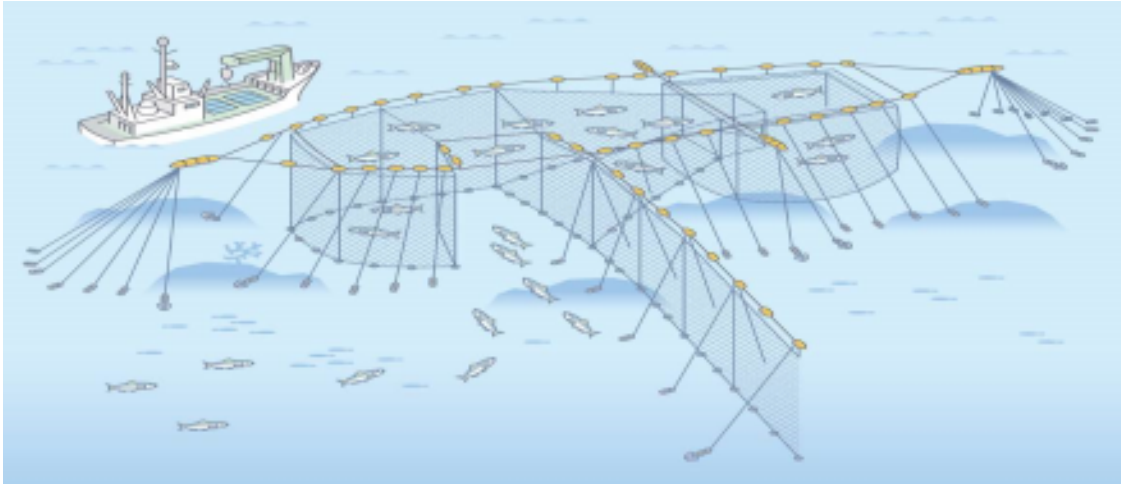
定置網漁 主要対象：コマイ・サケ等の沿岸性の魚介類

沿岸を回遊して移動する魚の通り道に網を仕掛けて、魚を取る漁法です。季節ごとに回遊する魚の習性や潮の流れを読んで、網の設置場所を決めます。

能動的に魚を追いかける漁法と異なり、過剰漁獲に陥りにくい、継続的な漁業が可能な環境に優しい漁法と呼ばれています。

○根室市における漁期

- ・サケ春定置 4月～7月
- ・秋サケ定置 9月～11月
- ・コマイ定置 1月～3月、5月～6月

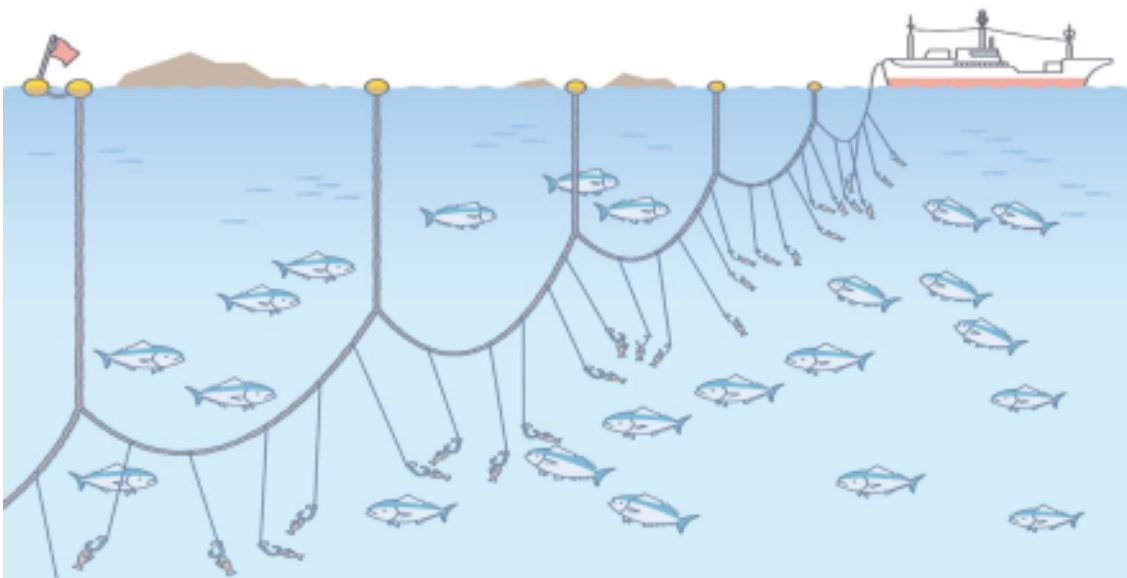


延縄漁 主要対象：マダラ

日本で開発された漁法で、一本の幹縄にたくさんの枝縄をつけて、枝縄の先端に釣り針をつけた漁具で行われる漁法です。幹縄の長さは数キロメートルにも及びます。

網を使った漁法よりも魚体を傷つけにくいいため、魚の価値を高めることができる漁法です。

○根室市における漁期 12月～3月



桁網漁 主要対象：ホタテ、ホッキ、ウニ

鉄、または木などの枠で網口を固定させた袋状の網(下部写真のもの)を桁網(けたあみ)と言い、この桁網にロープ等を巻き付け、船上から海底に沈め、船で曳くことで海底のホタテガイやホッキ貝などを獲る漁法です。

曳いた後、桁網を船に巻き上げ、船上で漁獲物を選別するという行程を一回の漁で何度か繰り返します。

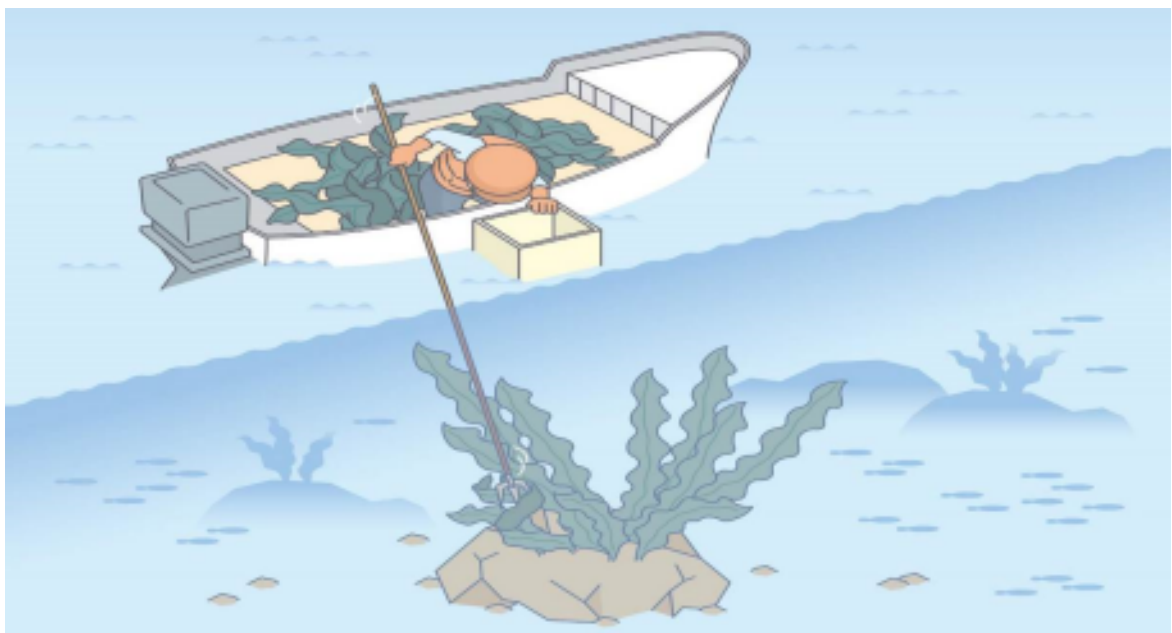
- 根室市における漁期
- ・ホタテ 4月～5月、11月～1月
 - ・ホッキ 4月～5月、8月～12月
 - ・ウニ 2月～3月



昆布漁 対象：昆布

昆布漁は小型船の上から「かぎ」「まっか」「かんざし」等と呼ばれる先端がL字状や螺旋状、三叉状等の様々な形になった細長いプラスチック（FRP）製の漁具で海底の昆布を絡めて採取する漁法です。

- 根室市における漁期 6月～10月



イカ釣り漁 対象：イカ

漁船に設置された漁灯を点灯させ、光に集まってきたイカの群れに対し、自動イカ釣り機を用いて、イカ針（疑似餌）を海中に投入し、引き上げる時にイカを漁獲する漁法です。

また、漁船後方に設置された大きなパラシュートは、シーアンカーと呼ばれ、海中に投入することで、潮の流れの影響により、大きく揺れる船体と漁具を安定させ、イカが疑似餌に食いつきやすくする役割を持っています。

○根室市における漁期 10月～12月



氷下待ち網漁 対象：コマイ・ワカサギ・チカ

根室市と別海町にまたがる風連湖において、冬場の厳しい寒さで凍結した湖面に穴を開け、水深約2メートルに網を設置し、2～3日後に網上げを行う、明治時代から行われていると言われる伝統的な漁です。

網の設置や網起こしの際、移動手段として凍結した湖面をスノーモービルに乗って移動し、網起こしの際のおこぼれを狙って、オジロワシやオオワシの姿も見られる等、自然豊かな根室ならではの漁法です。

○根室市における漁期 1月～2月



【出典：イラスト・農林水産省、写真・根室市水産振興課】